

2020.10.21

PCR 検査

かりゆし病院院長の境田です。

コロナ感染を確認する検査が PCR 検査です。PCR 検査が陽性であれば確実にコロナ感染していると言えますが、陰性と結果が出てもコロナ感染していないということではありません。偽陰性と言って本当はコロナ感染しているのに検査では陰性と結果が出てしまうことがあるのがこの検査の特徴です。また検査をする時期によっても本当はコロナ感染しているのに陰性と出てしまうことがあります。最も適切なタイミングは間違いなく PCR 陽性者と濃厚接触していて、そしてその 5～7 日後に何らかの症状が出た時になります。

現在、入院患者さん約 110 名、職員約 200 名に PCR 検査を実施しています。まだ誰がコロナ感染者かわからず、いつ濃厚接触したかもわからない状態で検査をしなければならないからです。1 回目 PCR 陰性を確認した数日後に症状が出現し 2 回目の PCR で陽性になっている症例も確認しています。

このため 1 回目陰性を確認した患者さん、職員に症状がなくても 2 回目の PCR 検査を実施します。この 2 回の陰性を確認して、一定の期間を経過していればコロナを他の人に感染させる状態ではないと判断することにしていきます。

今回は回復期病棟の患者さんからコロナ感染者が出ましたので、回復期病棟で治療にあたっていたリハビリ専従医師は間違いなく濃厚接触者になります。1 回目の PCR 検査は陰性でした。現在何の症状も出現していませんが、自宅待機とし 2 回目の検査を待っています。陰性だから大丈夫ではないのです。

このように PCR 検査は濃厚接触の度合い、時期など複数の要因を考慮して陽性となる確率が高い方から順番に実施しています。毎日陽性患者数がマスコミから報道されていますが、これは感染が拡大しているためではなく現在起きているクラスターの中での感染者があぶり出されている結果です。市中感染になることがないためにも病院再開へ向けてもまだまだ時間はかかりますが、もう少し頑張り続けます。